

【様式2】

食育月間以外の月の取組  
(食育月間を除く4月～12月までの実績)

提出都道府県名 政令指定都市名	佐賀県
取組市町村名	全域
取組の名称	食の安全・安心&食育講演会
実施時期	平成29年11月9日(木曜日)
取組内容	<p>佐賀県では、規則正しい生活習慣「早ね・早起き・朝ごはん」をスローガンに、「食の自立」を促す目的で食育活動を推進しています。</p> <p>今回の講演会では、県内の食育関係者を対象に、食の安全安心と併せて開催しました。</p> <p>食育では、「味覚を育てて、おいしく楽しく健康に」テーマで幼いころの味覚育成が、食材への興味関心を持つことに繋がり、好き嫌いの軽減等にもつながることなどが話されました。</p> <p>講演を聞いた参加者の中で、特に幼稚園・保育所等関係者からは、子ども達が食材に興味を持つように、自園でも行ってみたいという意見が多く見受けられました。関係者が実践していくことで、次世代への食育推進に繋がる事が期待できます。</p>



## 【様式2】

# 食育月間以外の月の取組 (食育月間を除く4月～12月までの実績)

提出都道府県名 政令指定都市名	佐賀県
取組市町村名	太良町
取組の名称	小学生への食育講習会
実施時期	8月
取組内容	<p>【竹の子の里子どもクッキング】</p> <p>実施期間:7月末～8月上旬</p> <p>対象者:町内の小学1年生～6年生(6回、計123名)</p> <p>目的:調理実習を通して食に興味を持つ</p> <p>内容:夏休み期間中、社会福祉協議会主催で開催される学童保育に参加している児童達と食生活改善推進協議会共催の下、調理実習を実施しました。</p> <p>○自分で作った料理は普段は小食な児童も完食できたりおかわりをする児童もみられました。調理実習の際も高学年の児童が低学年の児童に指示を出したり、野菜を切ってあげるなど協力して楽しく調理ができました。</p>
	 

## 【様式2】

# 食育月間以外の月の取組 (食育月間を除く4月～12月までの実績)

提出都道府県名 政令指定都市名	佐賀県
取組市町村名	佐賀市
取組の名称	新米を食べよう！事業
実施時期	平成29年12月14日・15日
取組内容	<p>○日頃水田に接する機会が少ない佐賀市中心部の小学校の児童に、生産者等による米の生産過程や食事の栄養バランス等の話を通して、農業や食の大切さを理解してもらい、市内産の新米の試食により、米の美味しさや品種による味の違いを知ってもらうことを目的として実施しています。</p> <p>○平成29年12月は、勤興小学校の5年生を対象に、3～4時間目の家庭科の授業として、「新米を食べよう！」事業を行いました。</p> <p>○まず、市内の生産者から、土作りから精米までの米作りの過程と、病虫害被害による苦労話について、写真を見せながら説明がありました。また、質問コーナーを設け、児童から生産者へ多くの質問が出され、一つ一つに生産者から丁寧な回答がありました。</p> <p>○次に、佐賀市食生活改善推進協議会のメンバーから、栄養・食事バランスについて「まごわやさしい」をキーワードに話をされました。その後、市産農産物を用いて、児童による具だくさん味噌汁の調理が行われました。</p> <p>○また、市内産の新米3品目(さがびより、夢しずく、富士こしひかり)の炊ける様子が見れるよう、ガラス鍋を使って米を炊き上げました。市職員がそれぞれの米の特徴を説明した後、参加者全員で米を試食、及び品種あてクイズを行いました。</p> <p>○児童には、市内産の新米(富士こしひかり、シギの恩返し米)をお土産として渡されました。</p> <p>○事業終了後、児童から「違う種類の新米どうしでは、味が全然違ったのでびっくりした」「稲から育てて糲摺りまで年中お米を見ていないといけないので、農家の方はたいへんだと思った」「お米には、農家さんの工夫と努力が詰まっていることがわかった」といった感想が寄せられました。</p>

